

【1】

令和4年度の派遣実績

| | | |
|----------------|---|--|
| 団 体 名 | 石橋記念公園 花と緑の会 | |
| 団体のこれまでの景観への取組 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 公園内外緑化・美化活動 ・ 公園周辺の史跡や景観マップ作り・配布 ・ 鹿児島・上町の景観づくりや観光を考える上町サミットの開催 | |
| 派 遣 回 数 | 1回目 | 2回目 |
| 会 議 名 等 | 石橋記念公園周辺の自然・歴史・文化資源を活用した景観形成地域まちづくりセミナー | 石橋文化と公園周辺歴史・文化資源を活用した景観形成地域まちづくり 体験学習 |
| 派 遣 日 | 令和4年11月26日(土) 13:30~15:30 | 令和5年3月18日(土) 10:00~12:00 |
| 参 加 人 数 | 32名(一般, 学生, 会員等) | 37名(一般, 学生, 会員等) |
| 開 催 場 所 | 石橋記念公園 | |
| 派遣アドバイザー | 塩津 洋一 氏 | 東川 隆太郎 氏 |
| 団体からの依頼事項 | 石橋文化と公園周辺の歴史を活かすための案内板等について, 現状評価及び設置場所やデザイン等の助言 | 石橋文化と公園周辺の歴史景観資源を活かした活動の必要性及びその効果等についての助言 |
| 助 言 内 容 | <ul style="list-style-type: none"> ・石橋記念公園は, 人の目を引く光と水の景観要素を満たしており, 利用者に癒しを与えている ・利用者を増やすには, 目につきやすい場所に, 石橋記念館の存在をアピールする案内板の設置が必要 | 公園内の歴史・文化資源を散策し, それぞれができた経緯や時代背景等を理解してこそ, 今後の景観形成に係る地域づくりへの理解が深まる |
| 助言の活用方法と今後の取組 | 来園者が見てわかりやすい案内板の設置方法についての助言を, 今後検討する上で取り入れていく | 歴史・文化資源をより深く理解し, 来園者にわかりやすい説明をすることにより, 来園者の石橋記念公園への理解を深め, 来園回数を増やす |

【2】

令和4年度の派遣実績

| | | |
|----------------|---|---|
| 団 体 名 | 阿久根市 | |
| 団体のこれまでの景観への取組 | 景観計画等が未策定であり、景観対策は市事業や地域住民の有志活動で行われている | |
| 派 遣 回 数 | 1回目 | 2回目 |
| 会 議 名 等 | 阿久根市の景観に関する職員等研修会 | |
| 派 遣 日 | 令和4年7月26日(火) 13:00~14:30 | 令和4年11月18日(金) 14:00~16:00 |
| 参 加 人 数 | 14名(市職員, NPO 法人等) | 7名(市職員, NPO 法人等) |
| 開 催 場 所 | 阿久根市役所 | 脇本海岸 三笠支所 |
| 派遣アドバイザー | 石田尾 博夫 氏 | |
| 団体からの依頼事項 | 景観法に基づいた景観計画・景観条例制定までの具体的な進め方等(区域の設定, 規制の内容, 予算等)について | |
| 助 言 内 容 | 景観法の概要をはじめ, 景観計画策定までの具体的な進め方等(区域の設定, 規制の内容, 予算等)について | 脇本海岸を中心とした周辺の史跡等を視察を通じた, より具体的な景観計画策定までの進め方について |
| 助言の活用方法と今後の取組 | <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的内容について助言を受け, 市職員及び地域住民の景観に対する意識醸成につながった ・景観計画の策定主体は景観行政団体の自治体であることを念頭に, 地域住民等の意見の収集方法を今後検討していく | <ul style="list-style-type: none"> ・現地を視察し, 講師の具体的な助言や, 研修会を傍聴した地域住民からの意見を聞くことで, 市職員の景観に対する意識醸成につながった ・今後は, これまで意識が希薄であった観光公害への対応方法について, 関係課と連携して検討していく |

【3】

令和4年度の派遣実績

| | | |
|----------------|--|---|
| 団 体 名 | 川平自治会 | |
| 団体のこれまでの景観への取組 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 展望台の修理 ・ 樹木伐採 ・ コンクリート整地 | |
| 派 遣 回 数 | 1回目 | 2回目 |
| 会 議 名 等 | 川平自治会 野田地区コミュニティ協議会 | |
| 派 遣 日 | 令和4年10月14日(金) 14:00~16:00 | 令和5年2月24日(金) 13:00~15:00 |
| 参 加 人 数 | 8名(市職員, 自治会員等) | 5名(自治会員) |
| 開 催 場 所 | 川平農村公園 川平公民館 | |
| 派遣アドバイザー | 石田尾 博夫 氏 | |
| 団体からの依頼事項 | (川平農村公園) <ul style="list-style-type: none"> ・ 全体的な公園整備計画 ・ 公園の巨石群と三つ葉ツツジの復元 ・ 階段の安全対策とバス停の設置(変更) | |
| 助 言 内 容 | 景観に配慮した公園の提案 | 川平農村公園における今後の方向性として、地域らしさの視点と、行政と住民の共同の視点、地道な取り組みを続ける継続の視点が必要 |
| 助言の活用方法と今後の取組 | 三つ葉ツツジの再起と巨石参道の整備, 展望台から360度見渡せることを活かした案内板の整備など, 検討していく | 要望書の提出を行うなど, 市政に働きかけ, 地道に活動を継続していく |

【4】

令和4年度の派遣実績

| | | |
|----------------|---|---|
| 団 体 名 | 入来花水木会 | |
| 団体のこれまでの景観への取組 | 武家屋敷群にそぐわない消火器設置の阻止 | |
| 派 遣 回 数 | 1回目 | 2回目 |
| 会 議 名 等 | 入来麓の景観について | |
| 派 遣 日 | 令和4年9月25日(日) 10:00~12:00 | 令和5年3月12日(日) 13:30~15:30 |
| 参 加 人 数 | 9名(入来花水木会) | 17名(入来花水木会, 入来郷土歴史研究会) |
| 開 催 場 所 | 入来麓地区武家屋敷群 (樋脇川を現地視察) | 清色上城跡堀切, 本丸跡 |
| 派遣アドバイザー | 平 瑞樹 氏 | 東川 隆太郎 氏 |
| 団体からの依頼事項 | 入来麓の良さを活かした観光の取り組み方 | |
| 助 言 内 容 | 自然環境, 生態系, 景観保全に配慮した河川づくりのあり方, 人の手によって失われた本来の河川道を取り戻す工法などの助言 | ・杖を登り口に用意する, 太めのロープを設置して山城を登りやすくするなどの工夫 ・麓の地図を含めた山城にスポットを当てたマニア向けのパンフレット作製 |
| 助言の活用方法と今後の取組 | 樋脇川河川敷を観光まちづくりの場として開発する話があり, その動向に注視するとともに, 自然に配慮した補修工事の在り方に関心をもつ | 入来郷土歴史研究会と協力し, 山城を案内するガイドの充実, 山城パンフレットの作成等を今後検討していく |

【5】

令和4年度の派遣実績

| | | | |
|----------------|---|--|---|
| 団 体 名 | 峰山地区コミュニティ協議会やなぎやま村 | | |
| 団体のこれまでの景観への取組 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 四季を通じた樹, 花の整備 ・ ハイキングロード, 山頂の整備 ・ 隣接する柳山風車公園について, 自然エネルギーの環境学習の場として提供 | | |
| 派 遣 回 数 | 1回目 | 2回目 | 3回目 |
| 会 議 名 等 | やなぎやま村 意見交換会 | | |
| 派 遣 日 | 令和4年8月21日(日) 10:00~12:00 | 令和4年9月29日(木) 9:00~11:00 | 令和5年2月2日(木) 10:00~12:00 |
| 参 加 人 数 | 20名(協議会員) | 22名(協議会員) | 18名(協議会員) |
| 開 催 場 所 | 柳山アグリランド | | |
| 派遣アドバイザー | 日高 一富 氏 | 石田尾 博夫 氏 | 東川 隆太郎 氏 |
| 団体からの依頼事項 | <ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある公園にするため植生の紹介 ・高齢者のメンバーでもインパクトがあり継続的に取り組める山から発信するまちづくりの助言 | | |
| 助 言 内 容 | <ul style="list-style-type: none"> ・嫌なことはせずに楽しい活動をする ・コスモスを部分的に植え, 見映えをよくする ・ネットを活用した地産品の販売 | <ul style="list-style-type: none"> ・春夏秋冬を意識した演出について ・サイン計画(案内, 規制, 誘導表示)の必要性 ・ブロガーや SNS 等による魅力, イベント情報の発信 | <ul style="list-style-type: none"> ・神話や歴史を深掘りする必要性 ・イベント開催場所の提供 |
| 助言の活用方法と今後の取組 | <ul style="list-style-type: none"> ・後継者に楽しむ姿を見せていく ・花の見せ方, 管理の仕方等を今後検討していく | <ul style="list-style-type: none"> ・活動のシステム作り ・ネットを利用した観光 PR を検討していく | <ul style="list-style-type: none"> ・柳山の歴史を学び, 語り部を展開していく ・場所提供の仕組みを検討していく |

【6】

令和4年度の派遣実績

| | |
|----------------|--|
| 団 体 名 | さつま町文化財ボランティア「さつまガイド」 |
| 団体のこれまでの景観への取組 | <ul style="list-style-type: none">・ 町内外の団体からの要望に応じて、町内の史跡を案内・ 清掃活動 |
| 派 遣 回 数 | 1回 |
| 会 議 名 等 | さつまガイド自主研修会 |
| 派 遣 日 | 令和4年12月5日(月) 13:30~15:30 |
| 参 加 人 数 | 9名(さつまガイド) |
| 開 催 場 所 | さつま町町内(虎居地区公民館ほか) |
| 派遣アドバイザー | 東川 隆太郎 氏 |
| 団体からの依頼事項 | 町内の史跡や景観等の価値を案内する際の視点やガイドコースの検討について |
| 助 言 内 容 | 史跡や景観を案内する際の注意点, ガイドの事前準備, 資料, 案内時の恰好, 話し方, 態度の注意点について |
| 助言の活用方法と今後の取組 | ガイドの解説や接遇について個人差があったが, 今回, ガイド間で共通認識をもつことができた。史跡や景観の理解を深め, 見学者の視点から興味深い解説できるよう, 自主学習を充実させていく |

【7】

令和4年度の派遣実績

| | | |
|----------------|--|--|
| 団 体 名 | 長島新風塾 | |
| 団体のこれまでの景観への取組 | 魅力ある地域づくりのため、地域住民や景観団体と協力し、年間を通して花壇に花を植栽して、景観形成を推進 | |
| 派 遣 回 数 | 1回目 | 2回目 |
| 会 議 名 等 | 景観アドバイザーと語る会 | |
| 派 遣 日 | 令和4年9月22日(木) 18:30~20:30 | 令和5年1月13日(金) 18:00~20:30 |
| 参 加 人 数 | 15名(長島新風塾) | 12名(長島新風塾) |
| 開 催 場 所 | 長島町 民宿 夕暮荘 | |
| 派遣アドバイザー | 平 瑞樹 氏 | 東川 隆太郎 氏 |
| 団体からの依頼事項 | 外部から見た地域のポテンシャルの考え方や発想の助言により、イベントや地域作りの活性化につなげたい | |
| 助 言 内 容 | 海岸線から山にかけての棚畑景観の美しさ、畑の造成のために長島町で出土した石を活用している点を、外部から見た長島町の魅力として説明 | 歴史文書を実際に読み解き、言い伝えの歴史と文書として忠実に残されている歴史、今昔の町の歴史を比較 |
| 助言の活用方法と今後の取組 | 外部の目線から地域の特徴を学んだことを、今後の活動への起点としたい | 言い伝えの歴史と文書として忠実に残されている歴史の違いを、どのように認識し今後伝えていくのか、歴史、景観、観光の視点をもち深く探っていく |